

企業名： インターネットイニシアチブ

レポート名： 「統合報告 2022」

### 1. この会社が目指している将来の姿が理解できるか

統合報告の中には中期計画とサステナビリティに関する記述があり、この二つで未来に関して述べていた。中期計画では市場拡大が予想される中でインターネットおよび関連システムの継続運営および強化と、信頼性および付加価値の高いネットワークサービスの開発により IT サービスの利用を下支えしていくと述べられている。この実現のために技術革新を進め長期成長のために人材獲得、育成を進めるとのべている。

サステナビリティの記述では、技術革新によりネットワークインフラの進化を牽引し様々な社会課題の解決に貢献すること、安全で強靱なインターネットサービスを提供すること、多様な才能と価値観を持つ人材が活躍し、挑戦できる場を作ることの三つを重要課題として特定している。これを実現するために様々な目標を立てている。

以上よりインターネットイニシアチブが目指す将来の姿はかなり具体的に想像することができた。

### 2. この会社の現在の競争優位性が理解できるか

統合報告書の経営理念の次に IIJ の強みとして競争優位性が述べられており、わかりやすかった。IIJ の強みは国内初の ISP としてのインターネット接続事業で養った技術による包括的なネットワークサービス、この技術をベースとしたサービス開発力と運用技術、国内最大規模のバックボーンネットワーク、大企業や官公庁といった強固な顧客基盤である。一つ目に関しては詳しい説明を見つけられなかったが、二つ目は豊富な人的資本により、経験豊かな技術者がサービスの運営、開発を行うことが裏付けであった。三つ目は、複数通信業者の回線を使い分け、拠点間を物理的に異なるルートで繋げることで安全性の高いバックボーンネットワークを実現していることがわかった。四つ目はこれまで、安全性に関する問題を起こさずにサービスを提供した信頼感を根拠として顧客基盤を獲得している。以上のことより概ね競争優位性は理解できた。

### 3. その競争優位性に持続性があるかどうか理解できるか

包括的なネットワークサービスの持続性については、理解できる。理由は IIJ のサービスはサブスクリプションのビジネスプランをとっているとあるからだ。また強固な顧客基盤の根拠も信頼にあり、今後大きな問題を起こさなければこの顧客基盤が急激に揺らぐことはないと考えられる。また、三つ目の競争優位性によって四つ目の競争優位性が持続されるだろうと考えられる。

#### 4. この会社で自身の人的資本の価値向上を達成できると思うか

私は、この会社で私の人的資本の価値を向上することができると思う。インターネットイニシアチブは長期的成長のために人的資本の育成を中期目標として掲げているのに加え、様々な人が活躍できる場の創出も重要課題として特定している。さらに、人的資本の構成として新卒を育成しながら即戦力を中途採用で担うとされており、大学生である私にとっては大きく成長できる会社であると感じる。

ただ、女性の比率が少ないため結婚や出産、子育てをしながら自身の価値を高め続けることができるのかについては疑問が残る。

#### 5. 報告書のよかった点はどこか、どのような改善余地があるか

競争優位性、将来のあるべき姿、人的資本、コーポレートガバナンス、サステナビリティなどが体系だって明確に述べられており、どのトピックに関する話なのかはわかりやすかった。

専門的な言葉が多く、機関投資家でも IT や、ネットワーク事業に精通しているものでなければ完璧な理解は難しいと感じた。特に競争優位性や、将来のあるべき姿などは専門的になっており、重要なトピックであるのに理解が難しいのは勿体無いと思った。

また、おなじトピックがページをおいて述べられている箇所があり、統一した方が見やすく、理解しやすいのではないかと感じた。たとえば、人的資本の話の中で女性が働きやすい職場について述べられており、かなり後にその詳しい内容が述べられていたため、つながりを意識しにくかった。